

民主島根

2020年
5.24
第1360号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

新型コロナ 医療体制強化、生活支援・補償こそ くらしと命守る追加の予算措置を 党県議団が松尾副知事に要望



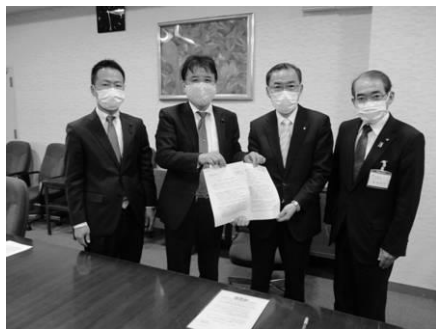
松尾副知事（左手前奥）に要望する県議団、松江、出雲の両市議、市議予定候補（県庁）

日本共産党県議団は14日、新型コロナウイルス感染症が県民生活に深刻な影響を及ぼしていることを受け、丸山達也知事が4月30日に専決処分した補正予算は県民と県経済を守るためには十分ではないとし、①検査、医療・福祉体制の強化②県民生活、中小業者・農林水産業者への支援拡充③学生の生活と学びの補償の3つの柱で追加の予算措置を要望するよう要望しました。5回目の申し入れです。（2面関連）

尾村利成県議は医療・介護現場のひっ迫した実態を語り、安心できる医療体制の重要性を強調。「ベッドを削減する地域医療構想は抜本的に見直すべきだ」と要求。大國陽介県議は「県民、事業者は、今後どうなるのか戦々恐々としている。メッセージが届く支援策をお願いしたい」と要請しました。

県民や事業者に希望とエールを 党県議団が県に第4次要望

日本共産党県議団は4月23日、県に対し、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」や県の一般財源、基金を投入・活用し、県民の暮らしや中小業者の生業を守る給付金や支援金などの支援を決定するよう申し入れました。（写真）



尾村利成県議は「県民から『明日の暮らしが見えない』など悲痛な叫び、相談が寄せられている。今こそ県民や事業者に希望とエールを届ける時」と強調。大國陽介県議は「休校により学習面、生活リズム等の不安が生じている。学校や教育委員会からお便りや手紙を出すなど、子どもと保護者を励ます取り組みを」と要望しました。

松尾副知事は「（交付金の）国からの配分額は示されていないが、県の財政調整基金を投入し、緊急・積極的にやってみよう」と説明。新田英夫教育長は「学習指導の工夫や心のケアなど、いろいろな人の協力を得てしっかり取り組んでいく」と述べました。

医療・介護崩さぬ支援を 島根県医連が県に要請

島根県医師連は4月24日、新型コロナウイルス感染症拡大で医療・介護体制の基盤が崩れかねないとして、県に財政措置を含む緊急支援策の強化を要請しました。日本共産党県議団、松江市議団が同席しました。

松江生協病院医師の眞木高之副院長ら5氏はマスクやガウン、消毒液の資材確保が大変なことや院内クラスターをつくらないために必死の努力をしていると発言。「新型コロナウイルスと向き合う恐怖に、医師も看護師もストレスを抱えている。外来も手術も減り、経営も大打撃」と危機的な現状を紹介。

▽学生アルバイトの収入減の補償などを含む7項目を求めました。（2面関連）

医療現場に抜本支援早く 県医労連が県に緊急要望

県医労連は12日、県に新型コロナウイルス感染症の対応に追われている医療・介護現場の切迫した状況を訴え、医療崩壊を防ぐための抜本的対策を強く要請しました。日本共産党県議団、松江市議団、吉井安見出雲市議候補が同席しました。

森山篤士委員長ら4氏は「ただでさえギリギリの人員でやっている。その上、衛生材料の不足で安心安全の医療・介護に困難を極めている。防護具が足りない中、肺炎疑

鼓動

「国会をまじめに見始めたのは最近のことです。マスク2枚とか：GOTOキャンペーンなどの政策が発表され、国民の生活がひっ迫しているときにおかしいなと思いはじめ、初めてまともに国会を見るようになりました」▼これは「#検察庁法改正案に抗議します」とツイッターで最初につぶやき「オンラインデモ」をはじめた30代女性会社員の言葉。最初は「別に定年後も働かせてあげればよくね？」と思っていたが、「調べれば調べるほど：民主主義レベルでヤバイことでは？しかもコロナで緊急事態宣言が出ている中で？と不安になりました」と思いをつづつていく▼コロナ危機は国民の政治を見る目を鋭くさせた。生活への不安もあいまつて、検察庁法改正案に怒りが爆発。日本共産党の国会論戦にも熱い注目が寄せられている▼俳優の小泉今日子さんは、事務所ツイッターで日本共産党の志位和夫委員長のつぶやきや、山添拓参院議員の国会質問動画をリツイートして紹介。ミュージシャンの後藤正文さんは「（日本共産党は）どう考えてもまともな質問をしているし、まともな政策批判をしているように俺は思う」、歌手の橋本潮さんは「日本共産党の理路整然とした質疑はだれが聞いても大人なら理解できます」と発信している▼「危機のもとでこそ、みんなで声をあげ、民主主義を成熟させよう」。志位委員長はよびかけた。元検事総長、元特捜部長も声をあげ、安倍政権は強行を断念。一人ひとりの声が政権を追い詰め、民主主義の底力を示した勝利だ。私たちが、政治への熱い思いに込め、新しい政治を実現したい。（後）